

第 33 回日本母乳哺育学会学術集会のご案内 「赤ちゃんからひもとく母乳栄養」

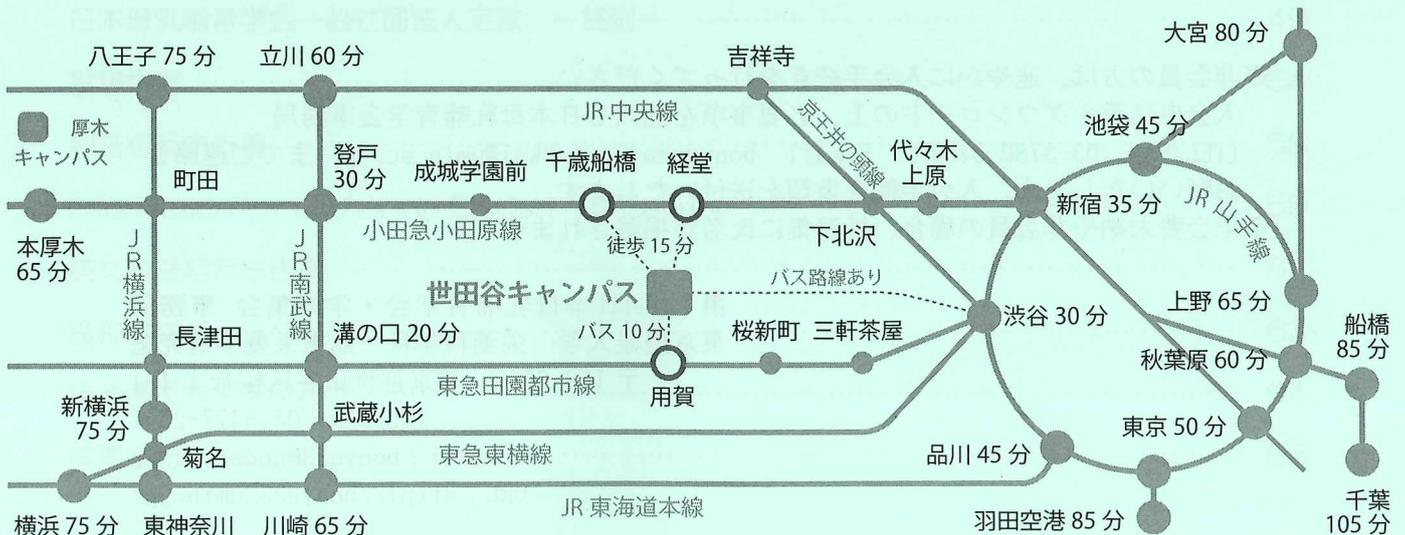
第 33 回日本母乳哺育学会・学術集会を東京農業大学世田谷キャンパスにて開催させて頂くことと相成りました。本学会の運営にご尽力頂いた故財満耕二先生のもとで 1992 年の第 7 回研究会以来の開催となります。当時は 10 時開始の 17 時閉会の 1 日開催でした。口頭発表と特別講演で構成されました。当時と比べますと 2 日間の開催となり、初日の午前中には勉強会、学術集会では、招聘講演、シンポジウムなど多彩になりました。

本学術集会では「赤ちゃんからひもとく母乳栄養」を開催テーマとしました。母乳栄養は、栄養学的に優れているだけでなく、心の発達、赤ちゃんとお母さんとのスキンシップを深める重要な要因となっています。平成 27 年度の乳幼児栄養調査では、授乳期の栄養方法において、10 年前に比べ母乳栄養の割合が増加しており、出産後 1 年未満の母親においても就業しながら母乳育児を行っている割合が増加しておりました。現在、女性の社会進出が推進されていますが、仕事をしながら母乳育児を行うことに対しては、まだ環境が十分ではありません。しかし母乳栄養に対する認識・意識については、妊娠中から約 6 割の母親が母乳育児を行いたいと望んでいることがわかります。

今回の学術集会では、栄養学的な観点を盛り込んだ母乳育児支援について、活発な意見交換により母乳育児に対する意識、見識を高める場になるように企画しています。シンポジウムや招聘講演、基調講演などこれから母乳哺育を学ぼうとする方々にも興味をもって頂けるような内容になるよう準備を進めております。皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

第 33 回日本母乳哺育学会学術集会 会長 本間 和宏
東京農業大学

期 日 平成 30 年 9 月 15 日 (土)、16 日 (日)
場 所 東京農業大学世田谷キャンパス 1 号館
〒 156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1 TEL : 03-5477-2547
学会参加費 会員 10,000 円 非会員 12,000 円 学生無料 (学生証提示)



プログラムの概要

9月15日(土)

- 勉強会 「乳児期早期の母乳哺育と体重増加」(教育委員会主催)
(この勉強会は、IBCLC単位の対象となります)
- Kick Off Lunch 昼食(300名様に無料でご提供)を摂りながら会員相互の親睦、
意見交換を行う場です
- 評議員会・理事会
シンポジウム 「母乳と健康」
- 会長講演 「赤ちゃんからひもとく母乳栄養」
- 懇親会 午後5時45分より 東京農業大学1号館6階多目的ホール
参加費 5,000円

9月16日(日)

- 招聘講演 「いま、ここに注目!! 食材パワーの源“フードファクター”」
- ランチョンセミナー 「サイトメガロウイルスの母子感染について」
共催:株式会社シノテスト
- 基調講演・ 「母乳育児の時の黄疸管理
ワークショップ ～黄疸の治療基準をどの程度守っていますか～」
- 一般公開講座 「エモーショナルサポートについて」

一般演題募集

演題募集期間

2018年4月16日(月)～7月13日(金)の期間に、
下記運営事務局まで「演題登録フォーム」をEメールでお送りください。

応募資格・要項

- 1) 「演題登録フォーム」は第33回学術集会ホームページ (<http://bonyu33.umin.jp/>)
よりダウンロードしてください。
- 2) 筆頭演者情報・共同演者情報・抄録本文(全角800文字以内)
- 3) 発表者は、学会当日(平成30年9月15・16日)に本会員であることが必要です。
- 4) 発表形式・演題採否は7月中旬頃に、Eメールでお知らせします。
- 5) 「演題登録フォーム」送信後1週間以内に「受領通知メール」が届かない場合は、運
営事務局までお問い合わせください。

なお、演題採否につきましては、会長に一任させていただきます。

※非会員の方は、速やかに入会手続きを行ってください。

入会申込書をダウンロードの上、必要事項を記入し日本母乳哺育学会事務局
(TEL/FAX 03-3782-5767: E-mail bonyuhoiku-gakkai@umin.ac.jp)までご連絡を
お願いいたします。入会手続き書類を送付いたします。

※年会費未納や非会員の場合、抄録集に氏名が掲載されません。

第33回日本母乳哺育学会・学術集会 事務局
東京農業大学 栄養科学科 臨床栄養学研究室
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1
TEL/FAX: 03-5477-2547
E-mail: bonyu33@nodai.ac.jp
URL: <http://bonyu33.umin.jp/>

目次

—Index—

巻頭言	母乳は実によく出来ている。が…	森内 浩幸	1
総説	日本母乳哺育学会主催勉強会 「バースカンガルーケアと母乳育児 母子分離と母乳育児支援について考える」 バースカンガルーケアと母乳育児	堀内 勁	3
	母子分離とその後の地域における母乳育児支援、その課題	柳澤 美香	11
	シンポジウムⅡ「WHO/UNICEF 10 か条とBFH」 WHO/UNICEF 10 か条とBFH (Baby Friendly Hospital)	中村 和恵	15
	シンポジウムⅢ「ハイリスク妊産褥婦・新生児の母乳育児支援の現状と課題」 母乳育児に困難をかかえる妊産褥婦	笠井 靖代	21
原著	看護者が新生児に母乳代替品の補足を決定する際に考慮する要因 —提示した事例へのケア選択理由の分析から—	瀬戸口陽子	29
話題提供	桶谷式母乳育児推進協会（旧桶谷式乳房管理法研鑽会）の活動	中川 有加	41
	日本母乳哺育学会賛助会員リスト		44
	日本母乳哺育学会学術集会今後の予定		44
	日本母乳哺育学会一般社団法人定款		45
	日本母乳哺育学会一般社団法人定款 —細則—		49
	投稿規程		54
	利益相反申告書		58
	Information for authors in English manuscript		59
	英文利益相反申告書		62
	投稿論文チェックリスト		63
	小池通夫先生を偲んで		64
	編集後記		65

CONTENTS

Vision:

Hiroyuki MORIUCHI

Eulogy:

Hiroshige ISHII

Symposium Reports:

Birth Kangaroo Care and Breastfeeding

Takeshi HORIUCHI

Breastfeeding Support and the Problems in the Area Community, When a Newborn Was Hospitalized and After the Mother Was Leaving Hospital

Mika YANAGISAWA

The Ten Steps for Successful Breastfeeding and the Baby Friendly Hospital Initiative (BFHI)

Kazue NAKAMURA

Individually Tailored Support for Nursing Women and Children Is Expected in Tertiary Care Medical Facilities

Yasuyo KASAI

Original Article:

The Factors that Influence the Decision Making by Nursing Staff for Supplementation of Breastmilk Substitute to Newborn Infants

Yoko SETOGUCHI

Topics:

Activities of The OKETANI Method

Yuka NAKAGAWA

Vol. 12, No. 1, 2018

The Journal of the Japanese Society for Breastfeeding Research